

がんに関する実態把握調査（がん患者・がん経験者～就労・緩和ケア～） 素集計結果の概要

■回収状況

配付数	回答数	回収率
755	217	28.7%

■回答者属性

(1)回答者〔性・年齢階級〕

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-99	回答無効	総計	
男性		1	3	18	27	24	4			77	35.5%
女性	1	6	24	51	38	14	1	1		136	62.7%
性別不明						2			2	4	1.8%
総計	1	7	27	69	65	40	5	1	2	217	100.0%
	0.5%	3.2%	12.4%	31.8%	30.0%	18.4%	2.3%	0.5%	0.9%	100.0%	

- 男性では50歳～70歳代が、女性では40歳～60歳代の回答が多かった。

(2)診断時年齢〔性・年齢階級別〕

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-99	回答無効	総計
男性		3	5	22	25	17	3		2	77
女性	3	15	42	42	25	6	1		2	136
性別不明						2			2	4
総計	3	18	47	64	50	25	4		6	217
	1.4%	8.3%	21.7%	29.5%	23.0%	11.5%	1.8%	0.0%	2.8%	100.0%

- 診断時の年齢は、男性と女性とで差が見られた。

(3)現在の治療状況

	入院	通院	回答無効	総計
男性	7	66	4	77
女性	5	120	11	136
性別不明		1	3	4
総計	12	187	18	217
	5.5%	86.2%	8.3%	100.0%

- 通院治療中の方が8割以上であった。

(4)居住地と受療地の二次医療圏域

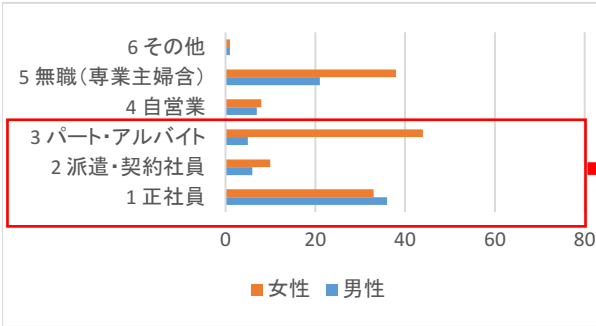
居住地\受療地	南渡島	札幌	後志	南空知	中空知	北空知	西胆振	東胆振	上川中部	北網	十勝	釧路	回答無効	総計
南渡島	29	2												31
南檜山	2													2
札幌		49											1	50
後志		2	2											4
南空知		1		5										6
中空知		3			6				1					10
北空知		1				3								4
西胆振							12	1						13
東胆振		1						3						4
日高								1						1
上川中部									46					46
上川北部									4					4
富良野									1					1
留萌									1					1
宗谷									1					1
北網		1								9				10
遠紋									3					3
十勝											14			14
釧路												7		7
根室												2		2
回答無効													3	3
総計	31	60	2	5	6	3	12	5	57	9	14	9	4	217

- おおよそ居住地と同じ二次医療圏に所在する医療機関で治療を受けている。

▼以下グラフには性別不明・回答無効を含まないため、回答数合計と数値が一致しない▼

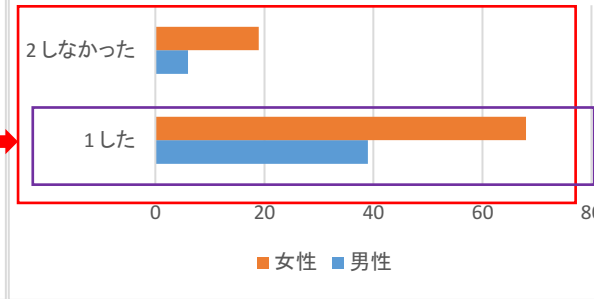
■就労に関する項目

問1ア 診断時の就労状況(人)



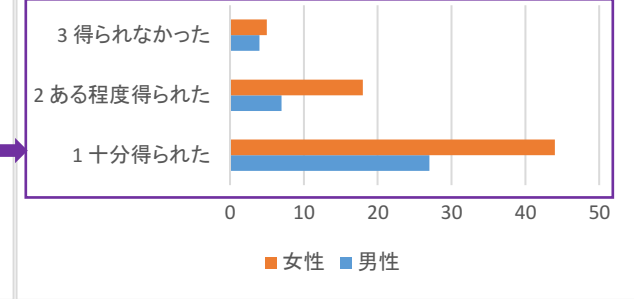
●診断時に就労していた人は男女とも約7割であった。

問1-2 診断時、仕事の継続の事業主への相談の有無(問1ア 1~3の回答者)(人)



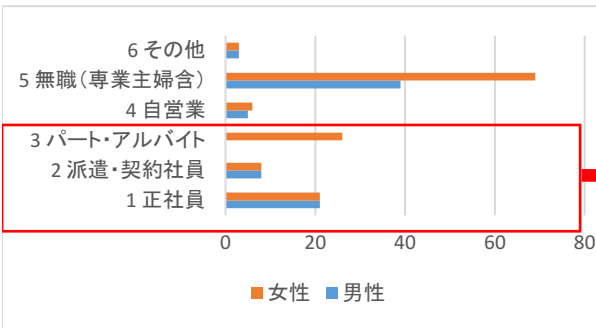
●多くの人が事業主へ相談していた。

問1-2-1 相談の結果(問1-2 1の回答者)(人)



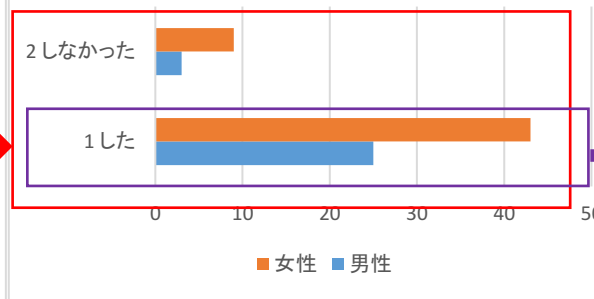
●理解を得られた人が多かったが、得られなかったとする人が男女合わせて1割程度いた。

問1イ 現在の就労状況(人)



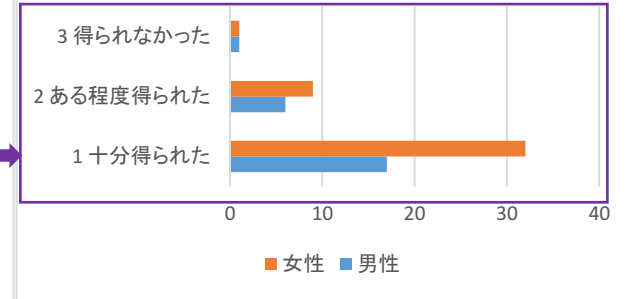
●現在就労している人は男女とも5割弱であった。

問1-3 現在仕事の継続の事業主への相談(問1イ 1~3の回答者)(人)



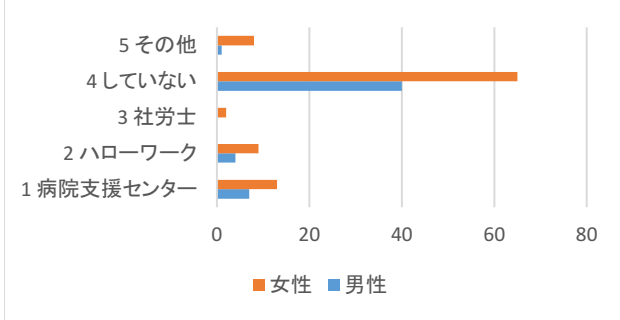
●多くの人が事業主へ相談していた。

問1-3-1 相談の結果(問1-3 1の回答者)(人)



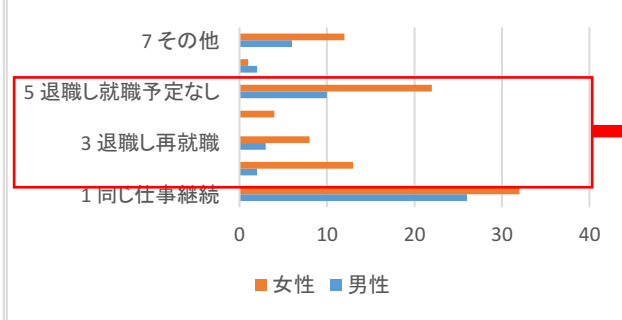
●得られなかったとする人が診断時の結果より減少していた。

問2 職場以外への相談(問1ア 1~4の回答者:複数回答可)(人)



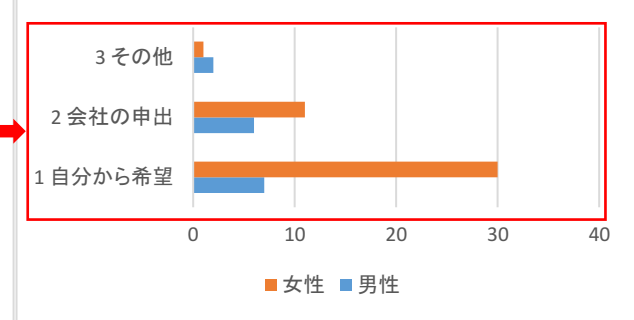
● 診断時に職場以外へ相談した人は少なかった。

問3 働き方の変化(問1ア 1~4の回答者)(人)



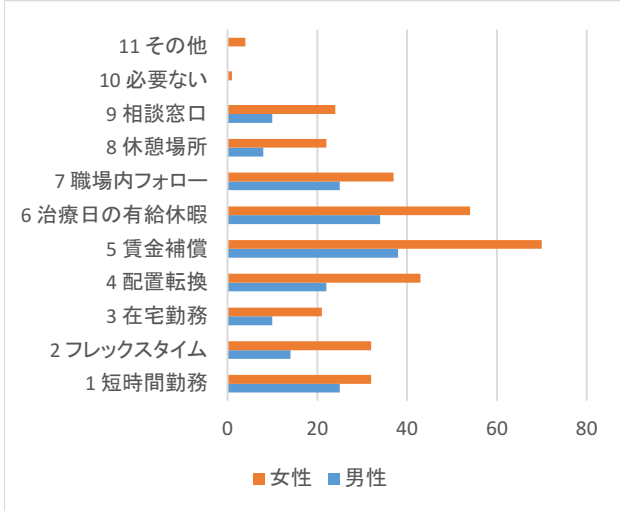
● 男女とも診断後も同じ仕事を継続している人が多い一方で、特に女性で退職した人が多かった。

問3-2 異動・退職の経緯(問3 2~5の回答者)(人)



● 異動・退職は会社からの申出が男性で約4割、女性で約2割であった。

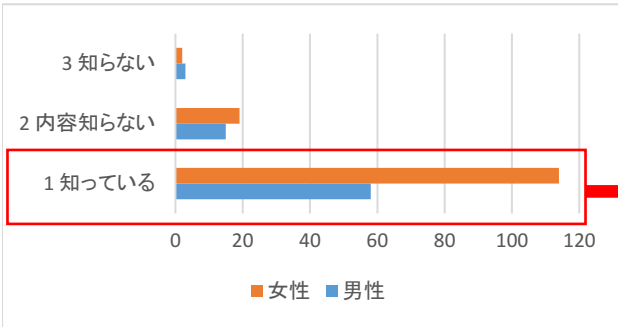
問4 必要と思う働き続けるための対応・制度(3つまで)(人)



● 男女とも休職中の賃金保障、治療日の休暇制度が必要と思っていた。

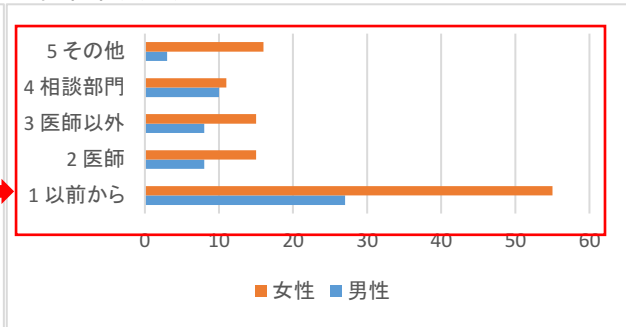
■緩和ケアに関する項目

問6 「緩和ケア」の認知(人)



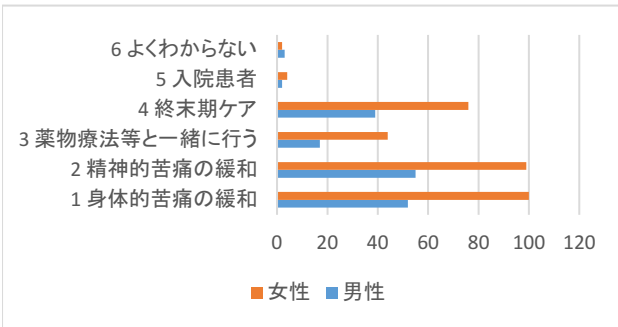
●知っている人は、男性の約7割、女性の約8割であった。

問6-2 緩和ケアを知ったきっかけ(問6 1の回答者)(人)



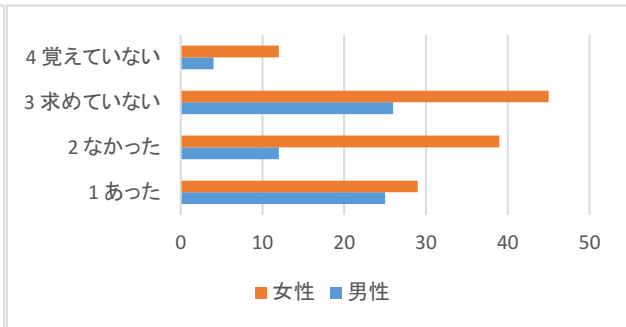
●男女とも以前から知っているとする人が半数弱であった。

問7 緩和ケアのイメージ(複数回答)(人)



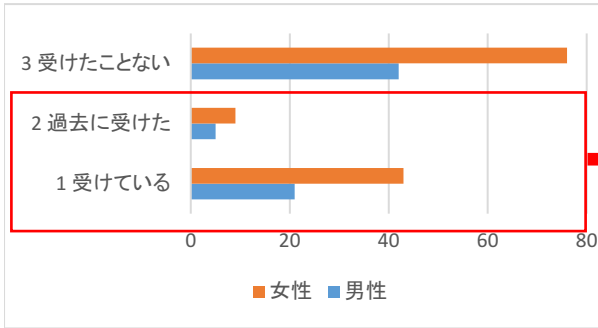
●身体・精神的苦痛緩和、終末期ケアと認識している日が多かった。

問8 緩和ケアに関する十分な説明(人)



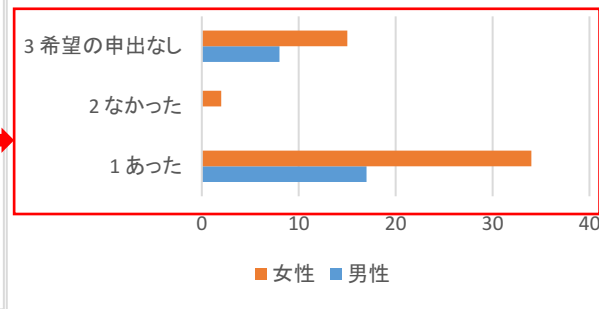
●なかったとする回答が男性と比べ女性に多かった。

問9 緩和ケアを受けたことの有無(人)



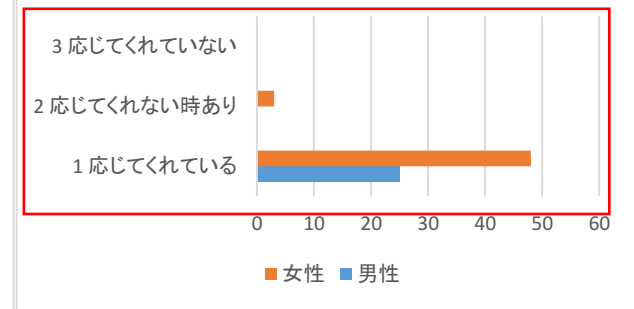
● 現在受けている人は、男女とも約3割であった。

問9-2 希望が取り入れられるような配慮(問9 1~2の回答者)(人)



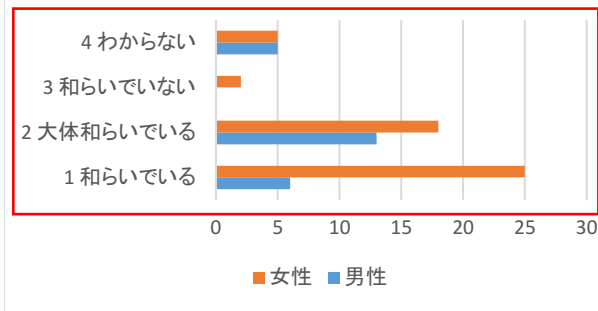
● 希望が取り入れられる配慮があったとする回答が多かった。

問9-3 スタッフの相談等の対応(問9 1~2の回答者)(人)



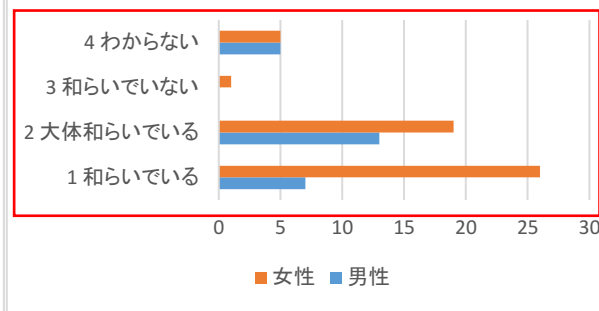
● 相談等にに応じてもらえている(た)とする回答が多かった。

問9-4 身体的苦痛の和らぎ具合(問9 1~2の回答者)(人)



● 和らいでいる(大体含む)とする回答が多かった。

問9-5 精神的苦痛の和らぎ具合(問9 1~2の回答者)(人)



● 和らいでいる(大体含む)とする回答が多かった。